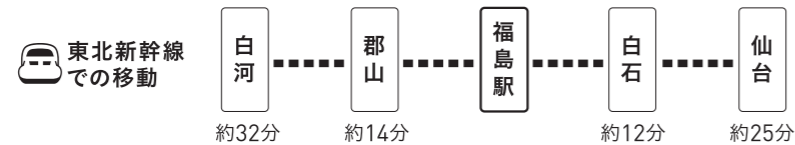
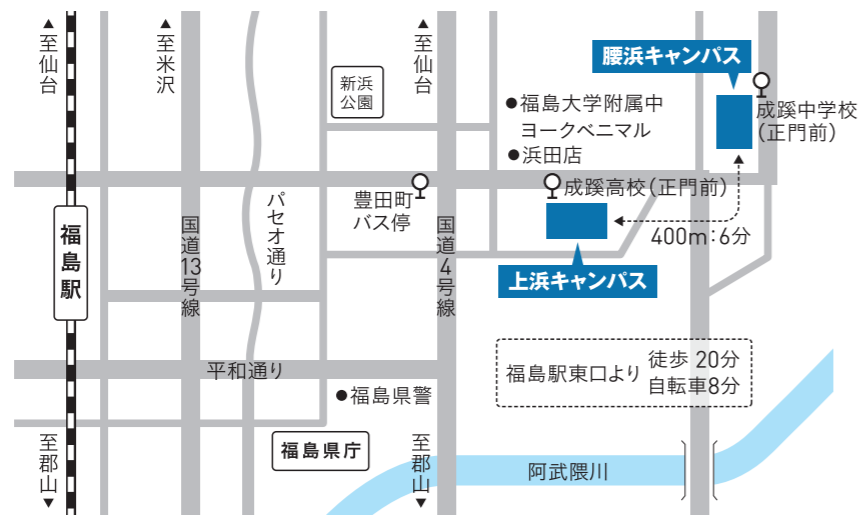


だから、
成蹊は
“伸びる”。



だから、
成蹊は
“伸びる”。

ACCESS



学校法人 福島成蹊学園
福島成蹊中学校・高等学校
(中高一貫コース)

腰浜キャンパス
〒960-8135 福島県福島市腰浜町15番21号
tel. 024-526-2282 fax. 024-526-2283
mail seikei-j@f-seikei.ed.jp



詳細は
ホームページへ

学校法人 福島成蹊学園

福島成蹊中学校・高等学校
(中高一貫コース)

2022
School Guide

fukushima Seikei
Junior&Senior HighSchool








東京大学、
医学部合格を
目指します。

未来を拓く力。

fukushima Seikei Junior&Senior HighSchool

だから、
成蹊は
“伸びる”。

5つの理由

-  1. **新学力観を包括したカリキュラム**
年間1500時間の学習量
-  2. **学ぶチカラを養う**
6カ年3段階プログラム
-  3. **生徒に寄り添い**
可能性を伸ばす教師陣
-  4. **五感で学ぶ**
豊富な行事&体験学習
-  5. **グローバル社会へ羽ばたく**
国際教育

Contents

- 02 イントロダクション
- 04 学力・人間力を伸ばす
新学力観を包括したカリキュラム
年間1500時間の学習量
- 06 学ぶチカラを養う
6カ年3段階プログラム
- 08 可能性を伸ばす教師陣
- 10 豊富な行事&体験学習
- 12 国際教育
- 14 進学実績
- 16 Future Talk 卒業生の声
- 18 スクールライフ
部活動・Q&A
- 20 施設紹介
- 21 イベント情報・入試情報
- 23 校歌・制服紹介
校長からのメッセージ
校訓・教育理念・教育目標

巻頭特集

だから、
成蹊は
“伸びる”。

学力、そして人間力を伸ばす。
それが福島成蹊
中高一貫コースです。

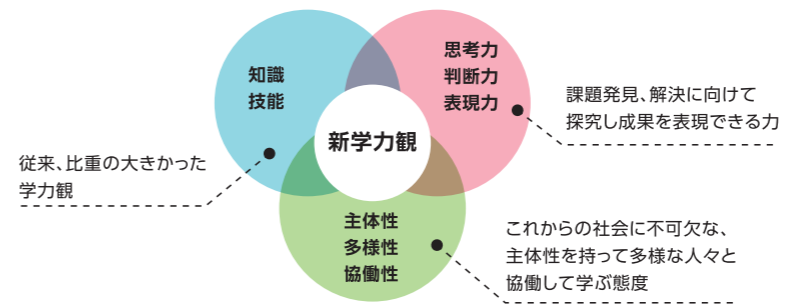
詳しくは
HPを



1.

新学力観を包括したカリキュラム 年間1500時間の学習量

「新学力観」とは



「授業」+「補講」+「課外」でサポートする「学習指導サイクル」

授業
【中1・中2・中3】週2回7時間授業 【高1・高2・高3】週4回7時間授業

「首都圏型」 「先進教育」の質と量で、
基礎から応用へと着実に進みます。

放課後補講 【中1・中2・中3】週3回(英・数・国):50分
【高1・高2・高3】週5回(5教科):90分

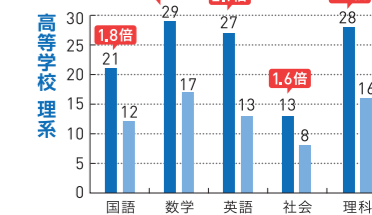
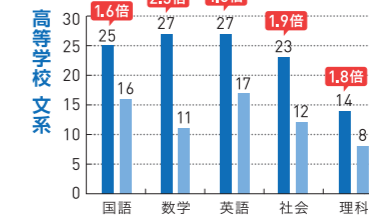
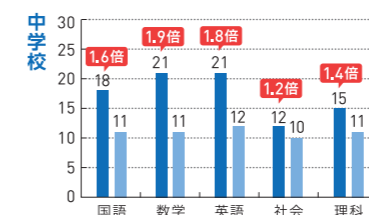
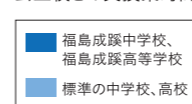
長期休業中の課外授業
【夏季】1日6時間(約14日間実施)
【冬季】1日6時間(約10日間実施)
【春季】1日6時間(約7日間実施)

学習合宿 生活力と精神力を鍛え、
困難から逃げない気概を
作るため、中高合同で
年2回実施。
【春季】3泊4日
【夏季】4泊5日
【高校3年大学
入学共通テスト直前合宿】
3泊4日

校外模試 全国のライバルたちと
切磋琢磨して、自分の実力を
確かめる。

6年間の学習時間は公立高校の8年分に匹敵!

▶ 主要5教科における
公立校との実授業時間比較



※本校の学習時間は「授業時間」と「放課後補講」を合わせた時間です。長期休業中の課外は含まれていません。 ※中学校は、授業時間数を単位(1週間あたりの授業時数)に換算してあります。
※「教科」は、中学校と高校では名称が変更になったり、また科目に分かれますが、ここでは該当科目の合計として計算してあります。



基礎学力を
身に付けるための
最高の環境。

成蹊中学校の時間割シミュレーション

	月	火	水	木	金	土
1	数学	美術	数学	英語	国語	英語
2	体育	国語	数学	数学	英語	英語
3	英語	理科	技術家庭	音楽	社会	理科
4	理科	社会	技術家庭	音楽	社会	理科
5	英語	体育	体育	総合	数学	委員会(自習)
6	社会	道徳	国語	特別活動	数学	
7	補講(国語)	国語	補講(英語)	補講(数学)	国語	
	部活動	部活動	自習	自習	部活動	

※色部分は公立中学校のタイムスケジュール例です。

2. 学ぶチカラを養う 6年間3段階プログラム

少人数によるアクティブな学びで
確実に伸びる6年間

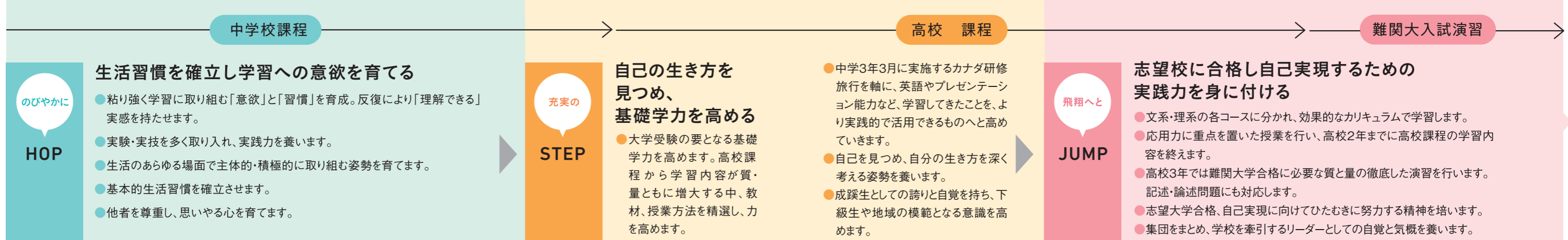


詳しくは
HPを



学習の流れ

希望の進路へ



主体的に学び、考える力を育む



朝読書のススメ

前期教育期間(中学1・2年)では毎朝30分の読書を行っており、100冊の推奨図書を定めています。これらは「伝記」「自然科学」「社会科学」「人文科学」「読み物」の5つの分野から成り、多くの世界へ興味関心を拓きます。



プレゼンテーション能力の向上

社会生活の基礎となるコミュニケーション力を磨くために、本校では中学校課程でプレゼンテーションの機会を多く設定し、基礎学力の一つとして育てています。一人ひとりが主体的に考え、討論し、発表する活動を、タブレットやプレゼンテーションソフトの活用も含め、行っています。

多面的に物事を捉え、実践力を養う



ICTが促進するアクティブ・ラーニング

Wi-Fi完備 1人1台タブレット

本校では校舎全体にWi-Fiを完備し、全ての教室やスペースで1人1台のタブレットを使用した活動を行うことができます。また、ICTを活かす学習サポートシステムの導入により、効果的なアクティブ・ラーニングの推進が可能になっています。



実践的な難関大入試演習

高校3年生で難関大学合格に必要な質と量ともに徹底した演習を行います。一人ひとりの合格に必要な課題を見つけ、志望大学合格へと導きます。

3. 生徒に寄り添い 可能性を伸ばす教師陣



熱心に勉強に打ち込む姿に
私自身も刺激を受けています

先生は、私たち生徒を
高めてくれる心強い存在

高校1学年主任 石澤 直樹 [担当教科/外国語(英語)]

本校の生徒たちは、将来の夢や目標に向けて、一生懸命に、そして生き生きと毎日を過ごしています。そうした生徒たちから日々刺激を受けて指導にまい進できることを、教師として誇りに思います。菅野さんも、本当に熱心に勉強に取り組んでいますね。さらに英語の力を伸ばすには、常に「なぜ、どうして?」という思考を忘れないことです。本質的な理解を追求していきましょう。



中学3年 菅野 はるか [福島市立福島第一小学校出身]

入学当初は、全然分からなかった英語。最初の授業は戸惑いましたが、先生は私たちの「分からない」が「分かる」に変わるまで、徹底して教えてくれました。おかげで今は理解に苦しむことなく、楽しく学んでいます。先生の指導のもと、書く読むだけでなく、聞く話す力を伸ばし、世界共通言語としてコミュニケーション能力を高めていきたいです。

一人ひとりの可能性を最大限に伸ばすため、
さまざまな工夫溢れる授業に取り組んでいます。



Teacher's Message

国語 Japanese

国語は全ての学習の基本

中学1~2年で丁寧な読み取りや知識の土台を作るため、文法の授業は週1時間、2年次後半からは古典文法へとつなげます。また3年から「現代文」「古典」に分けて大学入試を意識した指導をしていきます。

Message 思考力や想像力を育てよう

授業を通して豊かな人間性を身につけられるよう、生徒を引き付ける授業の仕方、専門知識を高める努力を大切にしています。文章の中の言葉がどんな意味を持ち、文脈の中でどうとらえられるか、想像していきましょう。



齋藤 光

社会 Social Studies

理解が深まる授業を提供

授業では、発問により生徒の理解を確認するコミュニケーションを大切に、暗記事項の定着につなげています。また生徒が興味を持つような話題を提供し、自分から学習を進めたい環境づくりに取り組んでいます。

Message 社会科の学びで人生を豊かに

生徒の意見、発想に耳を傾け、生徒自身の考えを深めることを大切にしています。社会科で学ぶ内容は、大人になってから役立つ教養となります。授業で得た知識を活かし、人生を豊かにしていきましょう。



石井 智憲

理科 Science

楽しさや達成感を味わう教科

物理の学習は、対象の物理現象を正しく把握した上で①現象に適した物理法則を知る ②物理法則の使い方を身につける、この2段階が大切です。②まで授業で一緒に行うことで、物理学の楽しさや達成感が味わえます。

Message 自らの足で学問の山を歩んで

私は生徒と接する上で、理科という教科を通して生徒たち自身がじっくり思考する機会を設けることを大切にしています。自ら考える時間は、生徒個人の集中力や思考力を高めてくれると期待しています。



藤田 大策

英語 English

生徒の疑問に 徹底して応えます

「なぜchildの複数形はchildrenなのか?」ある生徒からの質問です。歴史をたどると、英語はヨーロッパからグレートブリテン島へ入り、さまざまな民族が変化させてきました。childは、複数語尾として昔使われていたruやenなどを掛け合わせたchildrenが今に残ったとされています。こうした疑問にも、ごまかすことなく応えるようにしています。

Message

英語の本質に触れ 教養ある人間に

さまざまな人と交流するには、まず英語を話せる以上に、人間としての深みがないと魅力が伝わりません。英語に限れば、文化的背景を理解し、単語や文法を正しく扱うことでその本質に触れられます。将来、本質を理解した知的な表現によって、皆さんが教養ある個人として世界に認められるよう、学ぶ姿勢に期待したいです。



石澤 直樹

数学 Mathematics

理解しやすい カリキュラムで学習

数学は個々の分野が体系的にリンクしているため、一度苦手になると学習が進まなくなります。この課題を解消するため、私の授業では、関連性が分かりやすい分野同士を連続して一気に学ぶカリキュラムを組んでいます。同時に、基本的な計算問題は無機質な反復だけでなく、より立体的にとらえられるよう問題を選定・演習します。

Message

解くこと、考えることを 楽しもう

大学受験を志す以上は、ある程度多くの量を演習することが必要で、多大な時間と誠実に取り組む姿勢が求められます。ここでいう誠実とは、考え続ける態度を指します。短い問題文や少ない情報から、実験と予想を繰り返して何度も跳ね返される、そんな経験を大切にしながら「解くこと」「考えること」を同時に楽しんでほしいです。



上埜 健太

4. 五感で学ぶ 豊富な行事&体験学習



課題解決の力や
達成感・一体感が
生まれる貴重な瞬間

6年間で67泊91日の宿泊行事

本校では中学校課程の3年間で36泊50日、高校課程の3年間で31泊41日の宿泊行事があります。宿泊以外にも、さまざまな鍛練的、運動的、文化的、探究的行事を通して、生徒は多くの経験を積み上げていきます。なかには失敗もありますが、そのときに、何がいかなかったのか、どうすれば良かったのかを深く考えることで主体的な姿勢が生まれ、友人と協働して困難を乗り越えることで大きな達成感を得ていきます。

だから、
成蹊は
“伸びる”。

リアルな感性を磨く



中学校と高校の合同行事

中学校と高校の合同行事も中高一貫教育の強みです。学年を越えたつながりの中で、先輩は先輩の姿を通して自分の将来を見ることができ、また、先輩は後輩の模範としての自覚から、それぞれが大きく成長していきます。それぞれの経験をICT(タブレット等を用いた情報通信技術)を活用して記録に残していく(=キャリアパスポート)ことで、自己の成長を振り返ることを可能にし、大きな成果へとつなげていきます。



オリエンテーション合宿 中1

学校生活に慣れるため、豊かな自然の中で相互理解・社会性を育む

自然と触れ合いながら散策を行ったり、みんなで力を合わせて貼り絵を完成させる共同作業で多くの気づきと達成感が生まれます。

強歩 中1~高3

鍛練することで、助け合い・思いやり・達成感を得る。

中1から高3まで縦割りのグループで30km余りの距離を歩きます。互いに助け合い自分の限界に挑戦していきます。

臨海教室 中1

生態系の観察、自然の中のレクリエーションを通して、集団生活をする。

泳力訓練やレスキュー体験など海岸での活動を楽しみながら、集団の中での自分の役割や助け合いの心を学びます。

立志式 中1~中3

志を持つ意義を理解し、自分自身を律する

中学3年生が高校課程へ進む時期に、教員、下級生、保護者立会いのもと、これからの自分のあり方について述べます。

尾瀬学習・燧ヶ岳登山 中1

忍耐力・自己責任・助け合い・郷土愛・達成感を得る。

尾瀬沼の山小屋に宿泊し、東北最高峰の燧ヶ岳登山や星座観測を行います。

林間教室 中2

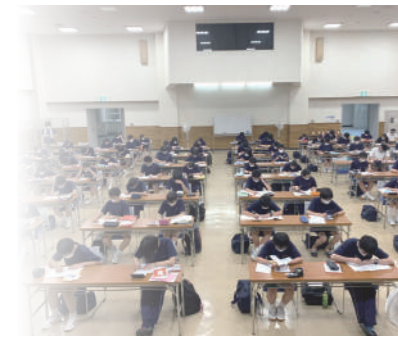
自然の中で活動し、生きる力を鍛える。

林間教室ではテント設置や自炊を経験するとともに、登山、沢のぼり、星座観測などを行います。



- 中高一貫対面式 [中1~高3]
- オリエンテーション合宿 [中1] (2泊3日)
- 強歩 [中1~高3]
- 学校茶道 [中1~高3]
- 教育講演会 [中1~高3]
- 臨海教室 [中1] (2泊3日)
- 職場体験 [中3] (5日間)
- 登山 [中3~高3] (安達太良山、磐梯山など)
- 学習合宿 [中1~高3] (4泊5日)
- 立志式 [中1~3]
- 東京大オープンスクール [高1]
- 東京大学見学 [中2]
- 尾瀬学習・燧ヶ岳登山 [中1] (2泊3日)
- 受験ガイダンス [高3]
- 合唱祭・桃李祭 [中1~高3] ※1年おき実施
- 林間教室 [中2] (1泊2日)
- 国際理解教育講演会 [中1~高3]
- 大学見学研修会 [中3]
- スポーツ大会 [中1~高3]
- 芸術鑑賞教室 [中1~高3]
- 学校茶道 [中1~高3]
- 海外研修旅行 [高2] (5泊7日)
- 養護学校交流 [中2]
- 弁論・ディベート大会 [中1~3]
- 大学入学共通テスト対策合宿 [高3] (4泊5日)
- 大学入学共通テスト 激励会 [中1~高3]
- スキー教室 [中1・2・高1] (2泊3日)
- 海外研修旅行行事発表会 [中1~3]
- 海外研修旅行 [中3] (7泊9日)
- 海外研修旅行報告会 [中3]
- 教育講演会 [中1~高2]
- 学習合宿 [中1~高2] (3泊4日)
- 受験報告会 [中1~高3]

※社会情勢によりスケジュールが変更になることもあります。



学習合宿 中1~高3

学ぶことに対する意識付けをし、刻苦勉勵・自分との戦いを実践する。

起床から就寝まで学習中心の生活をします。普段より長い授業時間や夜間の自学自習は、じっくりと深く学習に取り組むことができ、自分の限界を押し上げるきっかけとなります。

スキー教室 中1・中2・高1

集団生活でウィンタースポーツに親しむ。

東北の魅力の一つであるウィンタースポーツに親しみながら、スキー技術の向上をめざします。また、スキーリゾートとしての態度やマナー、環境論についても学習します。



集中力と精神力が養われ 成長を実感する学習合宿

一番印象に残っている学校行事は、約4日間のほとんどを勉強に注ぎ込む学習合宿です。勉強を通して自分自身と向き合うことで、時には自分の弱さも知ることになります。それでも粘り強く取り組むことで、答えが出るまで考え抜くことができるようになり、圧倒的な集中力と精神力が養われました。また、たった一人ではどうしても煮詰まってしまう時に、友だちの存在がいかに大切かを強く実感することができました。

中学3年
加藤 ひな乃
[福島市立矢野目小学校出身]



自ら考え行動することで 自信とたくましさを育む

本校の学校行事の特徴は、自然との共生、心身の鍛練、仲間との団結がベースとなっています。非日常での体験を通して、自分はどうすべきかを考え行動できる“たくましい人間”に成長してほしいと思います。生徒会長でもあるひな乃さんは、学習合宿をはじめ、何事にも積極的にチャレンジする姿勢が素晴らしいです。これまでの体験を活かし、失敗を恐れず、自分自身をどんどん高められる人間へと成長することを期待しています。

中学校主幹
志田 拓朗
[担当教科/保健体育]



5. グローバル社会へ羽ばたく 国際教育



答えは一つではないという
価値観

だから、
成蹊は
“伸びる”。

情報技術や交通の飛躍的発達によりグローバル化の進展はとどまることはありません。ボーダレス化しつつある世界の中で、現在の子どものほとんどは異文化の人々と自然にコミュニケーションをとり、共に働いたりすることでしょう。本校では国際理解教育を推進し、グローバル社会で活躍するための基礎作りを行っています。もちろん語学力も大切ですが、それ以前に人として異文化を理解する心や柔軟に考える力が必要だと考えます。



実践的英語力の育成

全員が実用英語技能検定を受験し中学校課程での2級取得を目標にしています。高校生では準1級を取得する生徒も出ています。

令和2年度 実用英語技能検定取得状況 (令和3年3月現在)

	5級 中学初級程度	4級 中学中級程度	3級 中学卒業程度	準2級 高校中級程度	2級 高校卒業程度	準1級 大学中級程度
中学1年	22人 (96%)	20人 (87%)	11人 (48%)	1人 (4%)	1人 (6%)	
中学2年	16人 (100%)	16人 (100%)	15人 (94%)	5人 (31%)	1人 (6%)	
中学3年	18人 (100%)	18人 (100%)	18人 (100%)	17人 (94%)	12人 (67%)	1人 (6%)
高校1年				7人 (100%)	4人 (57%)	
高校2年				12人 (100%)	8人 (67%)	
高校3年				15人 (100%)	12人 (80%)	2人 (13%)

PICK UP!
準1級に
3名が
合格!

国際理解講演会



「アフリカから考える
持続可能な開発目標
(SDGs)」
東京女子医科大学
国際環境/熱帯医学講座
教授・講座主任
杉下智彦 先生

※令和2年度実施例

海外研修旅行

中学3年生 カナダ(ビクトリア、バンクーバー)

英語でのプレゼンテーション、日本文化体験交流、一人1家庭のホームステイなど

高校2年生 カンボジア(シェムリアップ)・ベトナム(ホーチミン)

ベトナムからの留学生との交流(事前学習)、小学校訪問、日本文化体験交流 など
※社会情勢によりスケジュールが変更になることもあります。



リベラルアーツ教育の推進

茶道教育

国際社会においては異文化を理解することはもちろん、自文化を伝えていくことも大切です。本校では裏千家助教授を講師に、敷地内の茶室「自蹊庵」にて6年間、茶道教育を実施し伝統文化継承の意識と礼儀作法を学びます。

芸術・文化体験

作品に触れ、メッセージを汲み取る力=想像力を鍛えることで感性が磨かれていきます。大切なのは「本物」に触れることです。それを見て何を感じ、想像が広がるのか今まで知識として知っていたことが、経験とリンクし、単なる知識が知恵になっていきます。

教育におけるリベラルアーツとは、「生きた、実践的な教養」を意味します。これまでの学力観では、正解を出せる人が評価されてきました。しかし現実の社会で起こっていることは、一つの正解を見いだすことが難しい問題ばかりです。グローバル社会の中では、民族も宗教も違う人たちが「自分の考えは正しい」と信じて争っています。そこでは「ひとつの正解」よりも「多様性の理解」がとても大切になり、そのためには自分のマインドで考え、自分のハートで感じ、自主的に判断し行動することが求められます。

リベラルアーツを咀嚼し、自分のものとして消化することで広い視野や独自の視点を獲得し、人生がより深く意義のあるものとなる、それこそが「生きる力」と言えるのではないのでしょうか。



多様な価値観を理解し 豊かな国際性を育む

本校の国際教育は、他者の受容、自尊心、平和と正義の追求、人としての連帯感、そして自然と生命に対する畏敬を、授業や体験学習を通して身につけることをめざしています。山村くんも、実体験を通してこれらの要素に触れ、異文化を理解する大切さを学びましたね。異なる価値観を持つ国や地域に理解を持って行動するには、自国への理解も持っていなければなりません。両方の理解を深め、豊かな国際性を身につけてほしいです。

高校2学年主任
秋元 佑介
[担当教科/外国語(英語)]

新しい人間関係を築いた カナダでの貴重な体験

カナダでの研修旅行では、生の英語に触れる貴重な経験ができました。現地の中高校生との交流やホストファミリーとの生活が特に印象的で、ホストファミリーとは今でも連絡を取り合うなど、新しい人間関係を築くことができました。この旅行で学んだことは、国境を越えて愛を持つことの大切さです。文化や考え方の違いを理解し、互いの心がより近づくように努力することが、自分にとっての国際性だと気づきました。

高校2年
山村 蓮
[桜の聖母学院小学校出身]



受験勉強で最も力を入れたのは自分なりの勉強法を見つけること

進学先 ● 早稲田大学
文学部 1年

渡辺 研介さん [福島市立福島第三小学校出身]

福島成蹊中学・高校在学中に思ったことは、努力型の人間にとって最も重要なものは、学ぶ環境だということです。私は、集中して勉強に打ち込める環境が整った本校で、経験と知識に重点を置いた受験勉強に取り組みました。そして何より、自分なりの勉強法を見つけることに尽力しました。勉強法を調べたり自ら考え出したりする過程で知識を定着させ、自分なりの解き方や考え方を導き出すことで学力の向上を図り、自信を身につけ、試験でのパフォーマンスを磨きました。才能を発揮し、いかに昇華していかけるかは個人の考えと努力量にかかっています。福島成蹊という優れた環境の中で、ぜひ才能を磨いてください。



努力の大切さを学ぶことができたかけがえのない6年間

進学先 ● 東北大学

医学部 保健学科看護学専攻1年

三津間 楓さん [桜の聖母学院小学校出身]

勉強が全くできなかった中学1年の時は、本当に自分はやっているのだろうか、毎日考え悩んでいました。しかし、悩んでいる暇があるなら勉強しようかと心に決めて学習を進めていくと、努力の結果がついてきました。たとえば化学は、毎日少しずつ勉強を続けた結果ははつきり目に見える形で出た教科でした。その教科に自信がつくと自然に学習も楽しくなり、勉強が苦ではなくなりました。受験期を振り返っても、努力の結果は必ずついてくると知っていたからこそ、自分に負けず学習し、第一志望に合格できたように思います。福島成蹊中高の6年間は、私にとって努力の大切さを学べたとてもいい時間でした。



中学・高校での学びを土台に将来は起業をめざしたい

進学先 ● 立教大学
経済学部 1年

橋本 怜太郎さん [福島市立福島第二小学校出身]

進学先を立教大学に決めたのは、高校2年の秋ごろ。理由は、卒業生の就職先が自分のやりたいことに近い大学だと感じたためです。受験勉強では、とにかく自分のペースで勉強ができることを心がけました。自分で問題が解けるよう、過去問題集や先生からもらったプリントなどに徹底的に取り組みました。特に、得意科目だった数学や社会は受験必須科目だったのでしっかり勉強しました。努力の成果が実り大学に在籍している今、学習面においては、他のどの大学生にも引けを取らないと実感しています。今後は大学で専門的な知識を学び、将来的には起業も視野に入れて勉強に励んでいきたいです。



在学中に真剣に学んだからこそ今、医師をめざす自分がある

進学先 ● 福島県立医科大学
医学部医学科 1年

塚田 愛祈さん [福島市立清明小学校出身]

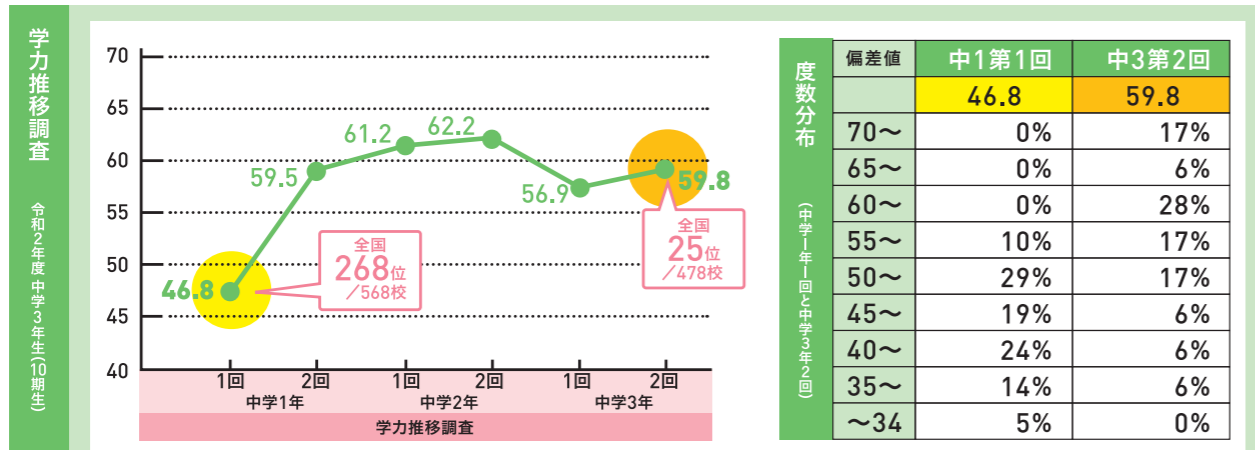
憧れの医師になる、という思いで取り組んだ受験勉強は、共通テストに重点を置き、全教科まんべんなく得点が取れるよう苦手教科の克服に力を入れました。目標を実現するには、学問に真剣で真摯に向き合う姿勢が必要です。6年間で身につけた学習習慣、そして物事を考える時のプロセスが、受験勉強のみならず大学での学びにも役立っています。また成蹊中学・高校の学校行事は他校と比較してハードだったからこそ、粘り強さ、忍耐力が身につけていると感じています。将来は、適切な処置が下せるだけでなく、人間的な温かみを失わず患者の幸せを念頭に置き、活躍できる医師になりたいです。



実績

だから、成蹊は「伸びる」。

※令和2年度は未実施	国語	数学	英語	英語「話すこと」
成蹊中 (9期生)	87%	72%	75%	53%
福島県 (公立)	72%	57%	53%	※データなし
全国 (公立)	73%	60%	57%	31%
全国1位	78% (秋田)	66% (福井)	59% (福井・東京・神奈川)	※データなし



中高一貫コース(7期生・15名)の合格実績[令和2年度]

▼国公立大学法人(9名)

学校名	総数	学部・学群	内訳
東北大学	2	医(看護)	2
福島大学	2	理工	2
新潟大学	1	人文社会	1
金沢大学	1	文系一括	1
釧路公立大学	1	経済	1
福島県立医科大学	1	医(医)	1
高崎経済大学	1	経済	1

▼私立大学(70名)

学校名	総数	学部・学群	内訳
早稲田大学	3	文 教育	2 1
東京理科大学	1	理工	1
明治大学	1	文	1
立教大学	1	経済	1
中央大学	3	文 総合政策 経済	1 1 1
法政大学	2	文 人間環境	1 1
学習院大学	2	経済 文	1 1
明治学院大学	1	文	1
成城大学	1	文芸	1
京都産業大学	1	文化	1
東京女子大学	3	現代教養	3
日本大学	3	文理 松戸歯 薬	1 1 1
東洋大学	2	理工	2
武蔵野大学	3	文 グローバル 人間科学	1 1 1
東京農業大学	3	国際食糧	3
学習院女子大学	1	国際文化	1
東京都市大学	2	都市生活	2
北里大学	1	理	1
千葉工業大学	21	社会システム工 工 創造工 先進工	2 12 4 3
東北医科薬科大学	2	薬	2
国際医療福祉大学	2	薬 保健医療	1 1
白鷲大学	3	経営 教育	2 1
共立女子大学	2	家政	1
恵泉女学園大学	2	人間社会	2
昭和女子大学	2	人間社会	2
白百合女子大学	1	人間総合	1
相模女子大学	1	学芸	1
聖徳大学	2	児童	2
明海大学	1	歯	1

▼文科省管轄外の大学校等(4名)

学校名	総数	学部・学群	内訳
防衛医科大学校	1	看護/技官	1
防衛大学校	3	人文・社会科学専攻 理工学専攻	1 2



▼中高一貫1~6期生163名(平成26~令和2年度)の難関大学合格数

学部	大学名	合格数	
医学部	慶應義塾大学	1	
	東北大学	1	
	福島県立医科大学	7	
	自治医科大学	1	
	順天堂大学	1	
	国際医療福祉大学	2	
	昭和医科大学	1	
	愛知医科大学	1	
	防衛医科大学校	5	
	国公立	東京大学	3
東京工業大学		1	
東北大学		20	
東京外国語大学		1	
お茶の水女子大学		1	
北海道大学		4	
私立		慶應義塾大学	11
		早稲田大学	15
		国際基督教大学	4
		東京理科大学	26
	上智大学	4	
	明治大学	13	
	立教大学	5	
	中央大学	25	
	法政大学	18	
青山学院大学	9		

だから、成蹊は「伸びる」。



OB&OG Future TALK

01 進学先

東京大学

同期に刺激を受け、
己を磨く

理学部 3年

木村 颯さん

[郡山市立大成小学校出身]

理科二類 2年

佐々木 瞭さん

[福島市立飯坂小学校出身]

佐々木 / 私が東京大学を目指したのは、将来自分がどんな勉強をしたいのか、入学後に吟味できることに魅力を感じたからです。それと、多種多様な興味関心を持つ人がいて、新しい価値観に触れられると思ったからです。木村さんはどうですか？

木村 / 私は幼いころから研究者に憧れがあって、一番研究力が高いと言われる大学に入りたかったから。高校時代から数学や物理が好きだったけれど、大学入学後に世界を数式で体系的に記述せんとする物理学に美しさと魅力を感じて、物理学科進学に決めました。佐々木くんは、在学中の目標ってある？

佐々木 / 大学は社会に出る前の最後の自分の興味関心に従って勉強できる機会だから、最大限活かせるようにしたいと思っています。木村さんは？

木村 / 私は理論物理学者、特に素粒子論の研究者が目標で、米国トップ大の大学院(博士)留学を真剣に考えているんだ。求められる壁は高いけれ

ど、後悔がないだけの勝負ができるように学問と向き合うことが、大学での最低限の目標。ただ、今はコロナ禍でオンライン授業がメインだよ。学問という面では問題ないけれど、せっかく同期や教員がとても優秀なのに交流が少ないのは勿体無いとも思ってる。

佐々木 / そうですね。鬱々とすることもあるけれど、一方で自分の好きなことに時間を使えるのはメリットかもしれないです。一人で勉強していると、福島成蹊での授業が懐かしく感じる時もありますよ。

木村 / 確かに今になって思うのは、息抜きに語りあって、困ったら気軽に頼れるような友人ができたことは大きかったな。それと勉強の面では、早期から志望校に対応したレベルの授業が受けられたことが良かった。

佐々木 / 私は、学校=学びを磨き合える場所で、いつでも先生に質問できたことで勉強がはかどりました。あと勉強を頑張っていることが評価されやすい環境だったのは、非常にありがたかったです。福島成蹊で真摯に勉強と向き合えたから、今の自分があると思っています。

高橋 / 自分は幼いころから人体の構造に興味があって、その分野を学びたいと思って医師を目指したんだよね。防衛医科大学校で学べば、将来自衛官という立場でも責任を全うすることになるから、在学中はそれに見合う知識と経験を身につけることが目標。黒澤くんはどう？

黒澤 / 僕も、ずっと医師になることが夢だった。将来は心身ともに強く、優しい医師になることが目標かな。今は医学を本格的に学べて、本当に幸せ。寮生活で多くの同期・先輩後輩と仲良くなれたし、毎日楽しいよ。高橋君はどう？

高橋 / そう。個性的な友人がたくさんできて、とても楽しい。もちろん、福島成蹊時代もとても楽しかったよね。勉強に関しては、中学生の時から大学受験を見据えた教育が受けられたから、志望校の選択肢が広がると感じた。

黒澤 / 福島成蹊は、高橋くんもそうだけど周りの友だちの学力や授業レベルが高くて、それに刺激されるから恵まれた環境だった。後輩の皆さんも、僕らのように切磋琢磨し合えれば、きっと叶えたい夢が叶はずです！

02 進学先

防衛医科大学校

医師になるという憧れを現実に

医学科 2年

高橋 慧悟さん

[福島市立鳥川小学校出身]

医学科 2年

黒澤 颯さん

[二本松市立原瀬小学校出身]

卒業生の声

進路のその先にある未来

学びを磨き未来を拓く先輩達

03 進学先

福島県立医科大学

地元福島で医学を学ぶ

医学部 3年

寺島 凜さん

[福島大学附属小学校出身]

医学部 2年

邊見 萌さん

[伊達市立柱沢小学校出身]

医学部 2年

鹿山 萌さん

[福島市立鎌田小学校出身]

寺島 / 鹿山さんと邊見さんは同級生だよ。福島成蹊中高時代はどうだった？

鹿山 / 邊見さんはじめお互いの姿に刺激を受けてみんなで高め合い、大学受験に向けてまっすぐ勉強できたのが良かったです。

邊見 / クラスの一体感がすごいわね。それと、6年間一貫した勉強ができるので、中学時の発展として高校の勉強ができて、より深い理解を得ることができました。

寺島 / 私は患者の助けになる医師を目指して福島県立医科大を選んだけど、二人は？

邊見 / 幼少の頃から憧れていた医師という職業。中学生の時にそんな夢を先生に伝えたら、この大学を勧められました。

鹿山 / 私は、将来地元である福島に医療面から貢献したいという思いで志望しました。

寺島 / コロナ禍の中での大学生活だよ。私は解剖学に関心があって勉強はすごく充実しているけど、鹿山さんはキャンパスに通えてる？

鹿山 / はい、基本的には大学に通っています。実習やテストで忙しい日々が続く時もあります。

邊見 / 私はコロナに関する知識が得られたので、コロナ禍ならではの大学生活を将来に活かしたいです。まずは医師になるという幼いころからの憧れを、きちんと達成したいですね。

04 進学先

東北大学

Q&A 先輩へInterview

Q.今の大学・学部を目指したきっかけは？

A. 菅野 / 志望校として東北大学と書く機会があり、自然と目指すようになりました。

佐藤 / 中学入学時から、自然と東北大学は視野に入っていました。

山崎 / 国公立で家から近い東北大を選びました。

齋藤 / 当時の学力で目指せる最難関の大学だったから。

西村 / 国立理系志望だったので。

Q.福島成蹊中高一貫の良いところは？

A. 菅野 / 毎日の勉強を習慣づけられること。海外研修や登山など貴重な経験ができること。

佐藤 / 6年間一緒にクラスメートと、とても仲良くなれること。

山崎 / 意欲の高い同級生と切磋琢磨できる。授業レベルが高く、知らない間に大学受験を戦える力がつくこと。

齋藤 / 早い段階から2次試験対策ができる。先生独自のプリントで、教科書以上の学びが得られる。

西村 / 少人数のため、先生が一人一人にしっかり指導してくれるところ。



Q.目標&夢を教えてください。

A. 菅野 / 生涯学習に関わる仕事に就きたいと思っています。

佐藤 / まちづくりを通して地元福島に貢献したいです。

山崎 / 看護学を学んでいますが、病院で働く看護師ではない道に進もうと思っています。

齋藤 / 公務員試験を受けようと考えています。

西村 / 農業や食に関係する仕事がしたいです。

Q.コロナ禍での大学生活はどうですか？

A. 菅野 / ようやく対面授業が始まりました。新しく経験することが多く楽しいです。

佐藤 / オンライン授業は自由な時間を作りやすく、充実しています。

山崎 / 思っていた大学生活と違いますが、自由に使える時間は増えました。

齋藤 / 規制がある中、できる範囲で楽しんでいます。

西村 / 移動の時間が節約できます。理系のキャンパスは山の中なので、通学が大変です(笑)。

School Life

学校生活



■ 福島成蹊生の一日常

福島成蹊生は一日の中の多くの時間を学校で過ごします。また、通常の学校では長期休業とする期間も、本校では一週間ほどの休業を除いては登校し、学習やさまざまな活動をするなど、学校を中心とした教育活動を行っています。

中学生の一日常

8:00 ~ 8:25	読書[中1・中2]朝学習[中3]
8:40 ~	ショートホームルーム
8:55 ~ 12:45	授業(1~4時限)
12:45 ~ 13:25	昼休み
13:25 ~ 15:15	授業(5~6時限)
15:15 ~ 15:40	清掃・ショートホームルーム
15:40 ~ 16:30	7時限(週2回)、補講(週3回)
16:40 ~ 18:00	部活動(週3回)、自習(週2回)

高校生の一日常

8:00 ~ 8:25	朝学習
8:40 ~	ショートホームルーム
8:55 ~ 12:45	授業(1~4時限)
12:45 ~ 13:25	昼休み
13:25 ~ 15:15	授業(5~6時限)
15:15 ~ 15:40	清掃・ショートホームルーム
15:40 ~ 16:30	授業(7時限)
16:45 ~ 18:15	補講

■ 友人・仲間・先輩

多くの生徒はクラス内に同じ小学校の出身者がいませんが、すぐに友人ができます。なぜなら、みんな同じく一人での入学し、目標が明確で、お互いに共感し合えるからです。上級生もみんな同じ過程を経験してきており後輩のことがよく理解できるので、先輩として適切に導いてくれます。

これまでの福島成蹊中学校入学者の出身小学校

【福島市立】福島第一小、福島第二小、福島第三小、福島第四小、清明小、三河台小、森合小、渡利小、南向台小、杉妻小、蓬萊小、蓬萊東小、清水小、北沢又小、御山小、岡山小、鎌田小、月輪小、瀬上小、余目小、矢野目小、大笹生小、笹谷小、吉井田小、佐倉小、飯坂小、平野小、湯野小、東湯野小、松川小、金谷川小、鳥川小、大森小、野田小、庭坂小、庭塚小、大久保小 【伊達市立】伊達小、梁川小、堰本小、栗野小、大田小、保原小、上保原小、柱沢小、富成小、掛田小、月館小 【川俣町立】福田小、川俣小、川俣南小、山木屋小、富田小 【桑折町立】釧芳小、半田釧芳小、陸合小 【国見町立】国見小(旧・藤田小) 【飯館村立】白石小、草野小、飯桶小 【二本松市立】二本松南小、二本松北小、岳下小、原瀬小、杉田小、大平小、油井小、新殿小、安達太良小、東和小 【本宮市立】本宮小、本宮まゆみ小、五百川小 【郡山市立】開成小、大成小、桃見台小、薫小、行健小、安積第一小、高倉小、大島小、富田小 【福島市内】福島大学附属小、桜の聖母学院小 【福島県内】郡山ザベリオ学園小、須賀川市立西袋第一小、三春町立中郷小、鏡石町立第一小、天栄村立広戸小、東白川郡棚倉町立棚倉小、白河市立白河第三小、会津若松市立一箕小、南会津郡下郷町立江川小、相馬市立中村第一小、相馬郡新地町立新地小、いわき市立高野小、西白河郡中島村立滑津小、白河市立みさか小 【福島県外】仙台市立上杉山通小、白石市立白石第一小、白石市立白石第二小、白石市立深谷小、白石市立越河小、山形市立南小、山形市立南沼原小、米沢市立愛宕小、米沢市立東部小、米沢市立興譲小、札幌市立資生館小、つくば市立二の宮小、横浜市立金谷南小、春日井市立不二小、明治学園小、新潟市立万代長嶺小、無錫イートン国際学校、千代田区立富士見小

部活動

興味関心に合わせて5つの活動から選べる全員参加の部活動。一つの目標に向かう強い心と協調性を養います。

詳しくはHPを



卓球部



総合運動部



吹奏楽部



茶道部



総合探求部

充実の毎日!

■ 通学エリア

通学区域の範囲が広く、生徒は徒歩、自転車、電車、バス、送迎などさまざまな手段で通学しています。電車・バス通学では同路線で通学する生徒も多く、互いに仲良くなったり、通学中は学習や読書など有効に活用できます。



広い通学エリア



Q&A

みなさんの疑問に
お答えします。



Q 受験準備をしていないのですが、受験は可能でしょうか。

A 小学校の学習内容が身に付いていれば全く問題ありません。ただ、模擬入試に参加したりホームページにある過去の入試問題を解いたりして、できない問題に取り組んでみることは学習習慣をつけていく上では大助だと思います。

Q 学習が好きタイプではないのですが、勉強についていけるでしょうか。

A 福島成蹊中では入学してすぐに上級生の自学自習を見学に行きます。すると、生徒は学習とはどういうことか一瞬で理解します。もちろん、理解しても最初はできない生徒もいますが、クラス全体が変化していくので、自然と学習が習慣化していきます。また、どの教科も範囲を決めた確認テストを行い、上位者を掲示しています。努力がすぐに形となることで学習の楽しさに目覚めていきます。

Q 福島成蹊中には知り合いがないので、友だちができるか不安です。

A ほとんどの生徒は別の小学校から来ていて同じ立場なのですぐに仲良くなります。入学してまもなく、友だち作りのための「オリエンテーション合宿」も行います。

Q 通学が心配です。距離が長い、バスや電車にちゃんと乗れるでしょうか。

A バス・電車通学の生徒は多くいて、ほぼ同じ時間にいっしょに登下校するので仲良くなり、通学にも慣れていきます。移動時間を活用し、読書やちょっとした学習をしている生徒もいます。

Q 寄宿舎(寮)はありますか?

A 現在はありません。今後の検討事項となっています。

Q 給食はありますか?

A 弁当持参になります。弁当の代わりに、朝のうちにパンを注文したり、飲み物は自動販売機で購入したりすることもできます。

Campus Map

施設紹介

教育目標を成就するための「快適な学習環境」



腰浜キャンパスの校舎はレンガ造りの3階建てで、安全に配慮した設計と構造になっています。上浜キャンパスは新校舎が完成し、学習環境が一層充実しました。また、中高共用の体育館・グラウンドは県内屈指の設備です。



生徒ギャラリー (腰浜キャンパス)

世界10カ国の時間が分かるワールドマップウォールがあり、休み時間の語らいの場として利用されています。



第1グラウンド・テニスコート (腰浜キャンパス)

300mトラックと人工芝テニスコート4面を備えたグラウンド。駐車場や部室、野球に対応できる設備もあります。



進路指導室 (腰浜キャンパス)

数多くの赤本をはじめ進路学習に必要なさまざまな文献が揃っています。コピー機やパソコンで必要な資料を手に入れることができます。



茶室 (腰浜キャンパス)

敷地内には落ち着いたたたずまいの本格的な茶室「自蹊庵」があり、茶道部の活動や授業にも使われています。



図書室 (腰浜キャンパス)

中学校では授業開始前に読書の時間があります。推薦図書をはじめ、辞書や事典、専門書までそろえています。



理科室 (腰浜キャンパス)

1人1台の顕微鏡を始め、さまざまな実験器具や装置がいっぱい。授業や部活動など、実践の場として広く活用しています。



多目的ホール (腰浜キャンパス)

式典や授業、部活動、集会など様々な活動に使われます。壁には生徒が入学時に作った貼り絵が飾られていて、生徒たちを見守っています。

イベント情報 Event Information 2021 ※詳細はホームページでご確認ください

デジタルオープンスクール 本校ホームページ

実施中

ホームページから、学校紹介や福島成蹊中生の一日など、さまざまな動画を見ることができます。他にも、デジタルパンフレットやよくある質問など、さまざまなコンテンツを用意しています！

福島成蹊英会話教室 腰浜キャンパス 要申込

随時受付中

対象：小学5・6年

中高一貫コース担当ALTのヴォルフガング先生と英語を楽しく学びませんか？英検4・5級レベルで4技能(話す・聞く・読む・書く)を高めることができます。

中学校(中高一貫教育)説明会 腰浜キャンパス 要申込

7月11日(日) 10:00~11:30

福島成蹊ってどんな学校？他の中学校とどこが違うの？分かりやすくお話しします。校舎見学、イベント申し込み、グッズプレゼントもあります！Zoomによる参加も可能です。個別相談や施設見学もできます。

オープンスクール 腰浜キャンパス 要申込

10月2日(土) 14:30~17:00

「科学のトビラを開こう！」「日本の歴史のウラ側に迫る！」「レザークラフトでオリジナルネームタグを作ろう！」など、楽しい授業がいっぱい！保護者向け説明会や個別相談も行います。

イブニング説明会 腰浜キャンパス 要申込

10月15日(金) 18:00~19:30

お仕事帰りの保護者様向けの説明会です。Zoomによる参加も可能ですので、遠方の方もどうぞ！

中学校模擬入試 腰浜キャンパス 要申込

10月24日(日) 9:00~11:30

今年度の出題傾向をふまえた模擬入試を行います。答えは採点し、解答解説とともに郵送で返却します。受験して、学習に対するモチベーションが上がったとの声をいただきます。

福島成蹊中学校・高等学校(中高一貫コース)の情報はこちらからどうぞ！

- 福島成蹊 HP
- facebook
- ぐるっと福島
- LINE公式アカウント
- 福島成蹊学園公式チャンネル

入試情報

募集定員 60名

入試日程 【1期入試】令和3年11月28日(日) / 50名
【2期入試】令和4年1月9日(日) / 10名

出願資格 令和4年3月小学校卒業見込みの者
試験科目 (1)学科試験:国語(45分)、算数(45分)、理科・社会(45分)
(2)面接:本人と保護者(5~7分程度)

詳細は生徒募集要項でご確認ください。

区分	1期入試	2期入試
出願期間	令和3年11月13日(土)~20日(土) 9:00~14:00 ※日曜、休日を除く	令和3年12月22日(水)、23日(木) 9:00~14:00
試験日	令和3年11月28日(日)	令和4年1月9日(日)
受付	8:30~8:45	8:30~8:45
試験	9:00~15:00	9:00~15:00
合格発表	令和3年12月1日(水)10:00	令和4年1月11日(火)10:00
入学手続	令和3年12月10日(金)まで銀行振込	令和4年1月12日(水)9:00~12:00 ※入学手続と入学確認を同時に行います。
入学確認資料配布	令和3年12月16日(木)9:00~12:00	
	本校で直接手続き	

高等学校就学支援金制度

国からの授業料の支援があります。
【年収590万円未満】年396,000円
【年収590万円以上620万円未満】年257,400円 ※県からの支給との合計
【年収620万円以上910万円未満】年118,800円

私立中学校に通う生徒への経済的支援に関する実証事業

文部科学省が実施する調査に協力することが条件の経済的支援があります。
【年収400万円未満】年100,000円

授業料等納付金及び諸会費(初年度年額)(令和3年度入学生)

納付金	出願料	13,000円
	入学金(入学時)	170,000円
	施設充実特別納付金(入学時)	60,000円
	授業料	460,000円
	小計	703,000円
諸会費	桃李の会会費	36,000円
	桃李の会入会金	1,000円
	生徒会会費	6,000円
	生徒会入会金	1,000円
	中学校備品費	6,000円
	小計	50,000円
	合計	753,000円

校内特待生制度 授業料の免除

- ①入学後、前年度(1年生は1学期)の総合成績が基準点(平均85点を原則とする)以上の者で、人物ともに他の模範となる者各学年1人
- ②免除の期間:1年間(1年生は9月~3月)
※福島成蹊高校在学中も同様の制度があります。

福島成蹊高校への内部進学者に係る特典等

- ①高校の入学金が半額免除されます。
- ②高校の施設充実特別納付金が全額免除されます。



校歌

作詞 坂内 萬
作曲 古関 裕 而

わが学び舎の 名もゆかし
桃李の花の 匂へれば
ものいはねども 慕ひくる
かげやこみちと なりぬべき
金剛石の みさとしに
阿武隈川の よどみなく
進みゆく世に 遅れじと
いそしむ技の 楽しさよ

愛唱歌 いつか小蹊が

作詞・作曲 小椋 佳

新しい風渡る 阿武隈川の
清らかな流れ 胸にたたえ
人が好き 夢が好き 優しさが好き
真心込めた 愛が好き
素晴らしい光射す 信夫山から
空行く雲へ 祈り伝え
集い合い 学び合い また競い合い
若い腕組み 歌い合い
いつか小蹊が生まれ
小蹊に愛が生まれ
幸せが笑顔で通う



Seikei Style

洗練されたデザインと、
バリエーション豊かなアイテムが成蹊スタイル。

SCHOOL UNIFORM WEAR COLLECTION



冬服

夏服

運動着

冬服

夏服

運動着

中学校

高等学校

女子の制服は「ハナエ・モリ スクールジェンヌ」を採用しています。

花の成長にたとえるならば、学生時代は蕾の時期。やがて大きく花開くために、良質の栄養を必要とする大切な日々です。毎日の生活に組みこまれる制服は装いの基本。着る楽しみがあって、着心地よく、機能性にすぐれた物でありたい。時代感覚にあったスパイスを効かせて、豊かな感性に響くようにと希っています。

森英恵 Design Hanae Mori

森 英恵

Message

ここには
本当の出会いがある。

校長からのメッセージ

西洋の歴史をたどると必ず「錬金術」の話がのっています。これは鉛などの賤金属を「金」に変えようと何世紀も努力した事実なのですが、結局このもくろみは成功しませんでした。しかし、「ひと」は金属とは異なり、「環境と努力」によって鉛が金に代わる以上に成長できる存在なのです。私たちはこの可能性を信じ、必要なモノを『中高一貫教育プログラム』として用意しました。

現代は科学技術の予想を超えた進歩の中で、次代の予測が不可能とも言われています。その事を背景として、昨今、教育改革が叫ばれています。私は『成蹊の教育』に時代が追いついてきたと認識しています。なぜなら、私たちのプログラムの中にはすでに「現代に求められている新しい教育観」が実践として含まれているからです。たとえば、気付きの機会でもある多種多様な行事、理解に不可欠な充実の学習時間など、すでに成果として表れています。「リベラルアーツ充実プログラム」もスタートしています。

本校には物事に真摯に取り組む者だけが経験できる出会いがあります。私はここで『人類の幸福と福祉のために、地球規模の問題解決能力を備えた“こころ”ある人材』を育てたいと思っております。



福島成蹊中学校・高等学校
校長 本田 哲朗

校 訓

「桃李不言下自成蹊」

「成蹊」という名は、司馬遷が「李將軍列傳」(史記)において李廣の人物を述べるため引用した諺「桃李不言下自成蹊」(桃李もの言わざれども下のおのずから蹊を成す)から採ったもので、福島成蹊高校の教育の理念をあらわしています。人里離れた深山の桃李は美しい花が咲き、美味しい実を結ぶ。深山のために直ぐ人目にはとまらないが、一度見つけ出されればそれを愛でようと人々の歩みも繁くなり、谷間に尾根に自然と小道(蹊)が作られる。そのように人間も、かおり高い徳操を内に蔵していれば、自ら求めなくても人々はその徳を慕い集ってくるものであるとの意味です。



初代校長 熊田子之四郎 書

教育理念

心を育み、叡智を究める。

教育目標

校訓「桃李不言下自成蹊」のもと、次代を担う徳を備えた人材を育成すべく

1

感性と品性を養うきめ細やかな教育を通じて、自ら学び続ける姿勢を育みます。

継続的な成長において欠かせないものの一つが生きる力です。そして、その礎となるものが感性と品性であると私たちは考えます。

2

果てしない知的的好奇心と論理的探究心に磨きをかけ、豊かな教養と創造力を育みます。

すべての人間は、あらゆる可能性を秘めています。それはあなたも同じです。本校では、一人ひとりの未知なる可能性を引き出します。

3

これからのグローバル社会において、多様な文化を理解し、課題解決に向けて果敢にチャレンジする心を育みます。

自国と異文化を理解する複眼的視点とコミュニケーション能力が不可欠と私たちは考え、様々な機会を提供します。